

平成 28 年熊本地震及び梅雨豪雨に関する資料の提供のお願い

熊本県では、熊本地震の経験を後世に残す取り組みの1つとして、インターネットを通じて県内外に情報を発信する「デジタルアーカイブシステム」の構築準備を進めており、自治体、大学、企業等の関係機関等と連携して、地震前後に関する資料（写真、映像、文書（チラシ）等）の収集を行っています。

つきましては、山都町においても各種資料の収集に取り組みますので、町民及び町内の全ての事業所（町外からの通勤者含む）等、本町に関わりのある方で、次のような資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非ご提供いただきますようお願いいたします。

- ・ **山都町における熊本地震及び梅雨豪雨の被害の状況や、復旧・復興の姿が確認できる写真や映像（可能であれば、デジタルデータにて。被災前のものがあれば尚良い。）**
- ・ **山都町内（町民、公民館分館や事業所、当時の避難所等）のために作成された（又は保存されている）、熊本地震及び梅雨豪雨に関する各種文書（チラシ類を含む）等の資料**

※資料は、デジタルデータ又は現物（できれば当時作成・使用された現物。現物が難しい場合は、複写や撮影したもので可）にてご提供ください。

※資料の提供に当たっては、提供者の連絡先及び以下の項目の確認を行います。

- ・ 作成者名（撮影者名）
- ・ 所属（住所や事業所名等）
- ・ 作成者（撮影者）連絡先
- ・ 作成日（撮影日）
- ・ 作成場所（撮影場所）
- ・ 公開の可否
- ・ 二次利用の可否（第三者の利用が可能なかどうか。写真や映像であれば、被写体に了解を得て撮られたものか、また、撮影後、被写体に二次利用の了解を得ているかどうか。）
- ・ 個人情報の有無・・・その他

問い合わせ先 総務課 72-1111



山都町文化交流拠点施設愛称募集中!!



山都町文化交流拠点施設は、「阿蘇家の歴史から、人の流れ、生産活動などの地域活力を紹介し、山都町全域の民族文化発展への流れ」をテーマにしています。

施設内には観光案内所やステージ、大造り物小屋を整備することで、文化遺産である阿蘇家の歴史・八朔祭・通潤橋・清和文楽・蘇陽地区の神楽などの情報を町内外へ発信し、現地へ誘導することを目的としています。

【施設の概要】

名称：「山都町文化交流拠点施設」 構造：木造平屋建て
住所：熊本県上益城郡山都町下市 16

【募集期間】

平成 29 年 1 月 31 日（火）まで

【応募方法】

「・施設愛称（ふりがな）・名称理由・応募者の氏名（ふりがな）・応募者住所・電話番号」を記入し、メール、郵送、持参、FAXの方法で提出してください。

応募用紙は町ホームページに掲示、役場本庁または各支所、山都町観光協会、山都町商工会に設置しています。

【選考及び表彰】

山都町中心市街地活性化協議会にて決定し、山都町文化交流拠点施設開所式にて、表彰を行います。

・最優秀賞 1 点（賞状・副賞） ・佳作 2 点（賞状・副賞）

【その他】

- (1) 決定した愛称の一切の権利は山都町に帰属します。
- (2) 応募に係る費用は応募者の負担とします。
- (3) 今回の公募は、応募が一番多い名称に決定する訳ではないことを、予めご承知おきください。
- (4) 同一名称の応募が多数ある場合は抽選とします。

【応募・問い合わせ先】

〒 861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町 6
山都町役場山の都創造課 担当：高橋、興柁
TEL：72-1158 FAX：72-1080
E-mail：kourog.hiroyuki@town.kumamoto-yamato.lg.jp